

「JAICOの国家資格キャリアコンサルタント養成講習」講座概要

受講方法	理論：テキストと通信添削による在宅学習（56時間） スクーリング：実習および講義（12日間・84時間）
修了条件	理論：通信添削（理解度確認テスト）7課題それぞれで正答率6割以上を取得すること スクーリング：実習および講義 84時間中70時間以上出席すること
申込み期間	前期：1月～3月 後期：7月～9月
受講期間	前期：4月～9月のうち4ヶ月間 後期：10月～翌年3月のうち4ヶ月間
受講料	324,000円（税込）・教材費込 *スクーリングのための交通費・宿泊費は自己負担となります。
受講料のお支払い方法	1. お振込み 2. 学費ローン *支払い時の手数料はご負担ください。
お申込み方法	1. Web 2. 郵送 *各会場を管轄する当協会の支部へお申込みいただきます。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・お申込みは先着順です。定員に達した場合は期間内であっても受付を終了いたします。 ・受講確定後に、会場の変更はできません。 ・お申込みの際は、「個人情報のお取扱について」「受講約款」をよくお読みいただき同意のうえ手続きしてください。

「JAICO の国家資格キャリアコンサルタント養成講習」実施カリキュラム

	習得目標	スクーリング	理論学習
ステップ1	カウンセリングの基本的な理論と、カウンセリングを行う際に必要とされるスキル(技法)を習得します。	1～5日目(35時間) ●カウンセリングの基本的な技法の講義と実習	24時間 <テキスト> ●キャリアコンサルティングの社会的意義 ●カウンセリングの基本的な理論と技法など <通信添削> ●3課題
ステップ2	キャリアコンサルティングを行ううえで必要とされるスキル(技法)やツールの知識・実践を習得します。	6～7日目(14時間) ●キャリア形成支援の講義	
ステップ3	キャリアコンサルティングの様々な現場で必要とされる知識や法律などを実際のケースを交えながら習得します。	8～10日目(21時間) ●様々なケースを取り上げる実習	24時間 <テキスト> ●基本的知識 ●支援者として必要とされる関連領域(職業能力開発、人事労務管理、労働市場、労働関係法規・社会保障制度、学校教育制度・キャリア教育、メンタルヘルス、ライフステージ・発達課題、転機などの理解) <通信添削> ●3課題
ステップ4	精神的な問題を抱える相談者に対して、適切な対応をするためのメンタルヘルスに関する知識と、キャリアコンサルタントとしての周囲への働きかけについて、実際のケースを交えながら習得します。		
ステップ5	キャリアコンサルタントに必要とされる知識やスキル(技法)を総合的に活用して行ける力と、キャリアコンサルタントとしての職業倫理を習得します。	11～12日目(14時間) ●まとめの実習 ●修了確認	8時間 <テキスト> ●キャリアコンサルタントとしての継続学習の必要性 ●キャリアコンサルティングの普及・啓発に関わる活動 ●キャリアコンサルタントとしての倫理の理解 <通信添削> ●1課題

「JAICO の国家資格キャリアコンサルタント養成講習」6つの特徴



日本産業カウンセラー協会は1960年に創立以来55年間、『働く人と組織を支えるための活動』を続けています。

1971年に始まった「産業カウンセラー」試験で約60,000人、2003年に始まった「標準レベルキャリア・コンサルタント※」試験で約12,000人の有資格者が誕生しており、カウンセラー養成にも長い歴史と実績があります。

※標準レベルキャリア・コンサルタントとは、2003年度～2015年度に実施のキャリア・コンサルタントの民間資格の試験のことです。



カウンセリングの基本は「傾聴」です。「傾聴」とは、相手を理解しようと深く相手の話を「聴く」ことです。

「傾聴」を基本としたカウンセリングで働く人を支えてきた日本産業カウンセラー協会の講座だからこそ、カウンセリングの基本からしっかりと学び、キャリアコンサルタントに求められる「問題解決へ導くための傾聴力」を身につけることができます。



日本産業カウンセラー協会の講座では、受講者6人に対して1名の講師を配置し受講者1人1人に合わせ、きめ細やかに指導します。小グループで実施することで実技の経験をしっかりと積み、資格取得後に即戦力となることができるようなカリキュラムとなっています。



就職活動に行き詰まり精神的に追い詰められる求職者が多い現在、キャリアコンサルタントにもメンタルヘルスに関する知識を持ち、必要な場合には医師等への相談を勧められるような力が求められています。

働く人のメンタルヘルス対策に長く携わってきた日本産業カウンセラー協会だからこそ、メンタルヘルスへの対応の有無と、リファー（紹介）先について、適切に判断するための知識や視点も十分に学ぶことができます。



仕事や家庭との両立への負担が最小限となるよう、理論は在宅学習を中心とし、実習は通学が基本となります。また、日本産業カウンセラー協会は、北海道から沖縄まで全国各地に活動拠点があるため、様々な地域に会場をご用意しています。



「会社として社員に勉強させたい」「取得したいけれども決められた会場までは遠い」といった時には、受講者が6人集まれば講師が出張して講座を実施することができます。全国に活動拠点があり、講師が充実している当協会だからこそ柔軟な対応が可能です。